

## 茨城県立真壁高等学校自己評価表

No. 1

目指す学校像		1 基本的な生活習慣を身につけ、豊かな人間性をつちかう。 2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、個に応じた進路指導の充実に努める。 3 専門教育の充実と地域社会との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。 4 学校行事への積極的参加、生徒会活動、部活動等を推進し、活力のある学校づくりに努める。			
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況	
1 基本的な生活習慣や規範意識、及び集団生活を通して豊かな人間性や社会性をどう身につけるか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・規範意識の高揚</li> </ul>	①規律ある生活を心掛け、欠席、遅刻、早退を減らす。 ②校則や社会のルールを守り、挨拶の励行や制服・頭髪を整えさせる。 ③生徒の実態を把握し、問題行動等の未然防止に努める。 ④関係機関との連携を図り、交通安全教育を推進する。	C	
2 基礎的・基本的な学習内容の定着に一定の成果がみられた。					
3 進路指導における就職内定の早期化と内定率の向上を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上</li> <li>・専門教育の推進</li> </ul>	⑤授業時間の確保に努める。 ⑥公開授業や学習指導方法の工夫・改善を図り、指導力を高める。 ⑦生徒の学習意欲を高め、主体的な学習を支援する。 ⑧家庭・地域社会との連携を深め、専門教育の充実を図る。	B	
4 自ら学ぶ意欲を育むとともに、進路を主体的に選択する態度をどう育成するか。					
5 主体的な生徒の取り組みとして「花いっぱい運動を」継続し、環境学習を推進する。					
		・進路指導の充実	⑨生徒の主体的な進路選択を支援する。 ⑩進路ガイダンスや職場体験等を通して、勤労観・職業観の育成に努める。 ⑪インターンシップ、資格取得、課外活動等の推進に努める。	B	
		・生徒の主体的活動の充実	⑫学校行事や生徒会活動、HR活動、部活動等への積極的な取り組みを推進する。 ⑬開放講座、花づくり事業、ボランティア活動等を通じた地域との連携強化を行う。 ⑭活動を通して信頼関係を築き、満足感や達成感を体験する。	B	
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度への主な課題
教科指導	基礎学力の向上を図る。	前年度までの学力をさらに向上させるため、読み書きの基本要件を踏まえた展開を行う。(全学年)	⑥⑦	B	・1年の習熟度学習を充実させるために、授業内容の検討が必要である。
		漢字検定の積極的導入を行い、漢字能力の向上を図る。	⑦⑩	A	
	授業内容の研鑽に努める。	小論文・作文等の課外を実施し、進路指導の一助とし、併せて自己表現力を高める。(3年生)	⑧⑩	B	
		授業内容、進度、方法等について教科内で研究・情報交換を行う。	⑥	B	
		高教研などへの参加と参加教員の積極的な情報伝達・研修を行う。	⑥	C	

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
教 民	地	基礎学力の向上を図る。	中学校の課程で学習してきた内容の復習を織り交ぜながら授業を展開していく。 ⑦	B	B ・調べ学習や発表等を交えた学習指導を工夫していく。
			教科書の内容を定着させるため、プリントに繰り返し取り組ませる。 ⑦	B	
	歴	社会的事象への関心を高めさせる。	授業の中で新聞記事やインターネットのサイトを利用して時事問題を積極的に紹介及び解説する。 ⑥⑦	B	
			調べ学習等、生徒が主体的に取り組む授業の改善に取り組む。授業内容の研鑽に努める。 ⑥⑦	B	
科 数 学	基礎学力の定着	1年生全員に中学3年までの内容を一人一人の定着度を小テストによりチェックし、一人一人に課題を設定して各項目(分野)の80%の定着を目標にする。(定着度テストの実施) ⑥⑦	B	B ・基礎学力を向上させるためのシステム作りが望まれる。	
		授業の内容理解の向上	普通科においては、習熟度別学習を実施し、生徒の理解の速度に合わせた授業を展開し、個別指導に努める。 ⑥⑦		A
		分かる授業の展開	授業内容を精選し、生徒の理解の速度に合わせた授業を研究、展開する。理解度の高い生徒には、補習等を実施し、更なる理解の向上に努める。 ⑥⑦		B
指 科	理	基礎学力の向上を図る。	実験・観察を通し、基本的事項の定着を図る。 ⑥	C	B ・実験や観察を授業に取り入れてゆくことが課題である。
			小テスト等を利用し、理解度の把握に努め、必要に応じて補習等を実施する。 ⑥⑦	B	
	興	興味・関心を高める授業、わかる授業の実践に努める。	実験・観察やITの利用などに積極的に取り組む。 ⑥⑦	C	
研修会への参加や教科内での協議を積極的に行う。 ⑥			B		
導 保 健 体 育	保	実際の生活で役立つ保健の知識を習得させる。	喫煙の害、性感染症、心の健康など現代的な問題については、各自が重要な課題として認識できるようにする。 ⑦	B	A ・基礎学習・基礎体力を向上させる。 ・個に応じた指導の充実 ・生徒が自主的意欲的に授業に取り組める指導法の工夫。
			生徒が理解しやすい教材、教具(パワーポイント)、実習(心肺蘇生法)などを工夫する。 ⑥⑦	A	
	健	運動の楽しさを実感させる体育授業を目指す。	運動の嫌いな生徒、苦手な生徒が運動する楽しさを感じられるような工夫をする。 ⑥⑦	A	
			各種研修会で学んできたことを本校の実態に合うよう改善し、授業に生かせるよう工夫する。 ⑥	A	
	体	基礎体力の向上を図る。	速やかな整列・集合、挨拶、ジャージ着装を徹底し、授業に臨む基本的な態度を身につける。 ⑥	A	
スポーツテストや持久走などの記録を生かし、生徒の意欲を高めていくような工夫をする。 ⑥⑦			A		
音 楽	歌	歌う喜び、演奏する楽しさを味わう。	表現を工夫しながら歌いあう喜びを感じ取らせるとともに、楽器演奏の基礎を習得し、合奏する楽しさを味わわせる。 ⑥⑦	B	B ・施設設備の充実を図る。 ・楽譜を読む能力や基礎的な演奏技術を習得させる。
			創作、鑑賞能力を養う。	楽器を製作することによって音の出る仕組みを学び楽譜の書き方や、楽典についての理解を深める。また互いの演奏を聴く態度を養う。 ⑦	
	日本	日本の伝統音楽に親しむ。	箏を演奏することにより、日本の伝統音楽の良さに触れさせる。 ⑥⑦	C	

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題	
教 科	外国語	基礎学力の向上を図る。	音読の指導と小テストを行い、英語を読む力と自信をつけさせる。 ⑦	C	B	・生徒に自信がつくような指導を考えていく。
			書く力の土台を強化するため、机間指導やノート提出を頻繁に行う。 ⑦	B		
		英語で話す喜びを実感させる。	英語検定の合格を目指し、個別指導を行う。 ⑦	B		
			ALTとの授業を計画的に行い、英語で話す機会を多く設ける。 ⑦	B		
家 庭	基礎学力の向上を図る。 実験・実習を充実させる。	学習内容を通して身近な生活の問題を解決していく力を身につけさせる。 ⑦⑩	C	B	・毎日の生活を見直していける態度を継続して指導していく。	
		地域にある素材の活用を通して、食への関心と安全・健康に対する理解を深める。 ⑦	B			
		体験学習を通して、生徒の学習意欲を高め、自分の生活を見直すことができたか。 ⑦	B			
指 報	情報活用の実践力を養う。	実習を通し、コンピュータやソフトウェアの操作の習熟に努める。 ⑦	B	B	・基礎基本がしっかりと身につく指導方法を考える。	
		実習においては、生徒にとって関心が高く、情報源の豊富なテーマ設定に努める。 ⑥⑦	A			
		情報社会での問題点についても、実習の中で理解が深められるように努める。 ⑥⑦	B			
導 業	農業に関する情報を発信し、地域社会の活性化を図る。  実験・実習を充実させ魅力ある農業教育を展開する。	農業科	各学年において、段階的な学習を確立する。 ⑥	B	B	・栽培技術の向上 ・学科のPR ・生徒の確保 ・農業クラブ各競技での入賞者を増やす ・資格取得の充実
			各授業の具体的な目標を設定し、授業内容の充実に努める。 ⑥	B		
			座学と圃場が一体化した授業を展開し、知識・技術の更なる定着を図る。 ⑥⑦	C		
			プロジェクト学習や課題研究など、生徒が主体的に学ぶ取り組みを促す。 ⑥⑦	C		
	環境 緑地 科	実験・実習を通して基礎的な専門科目の確実な定着に努める。	実践・実習を通して基礎的な専門科目の確実な定着に努める。 ⑦	B	B	・生徒の能力に合う指導を考えていく。
			チームティーチングによる実験・実習の展開から、生徒一人一人の主体性を向上させる。 ⑥⑦	B		
			目的を明確にさせ具現化に向けた指導をする。 ⑦	B		
	食品 化学 科	新施設・設備を利用した実験実習方法の充実・確立に努める。	新施設・設備を利用した実験実習方法の充実・確立に努める。 ⑥	B	B	・資格取得を目指し生徒個々の基礎基本の向上になるような指導を考えていく。
			生徒の安全に配慮した実験・実習に心掛ける。 ⑥	A		
			基礎・基本を大切にし、体系だった学習方法の充実・確立に努める。 ⑥	B		
			ボイラー技士及び危険物取扱者の資格取得向上を目指す。 ⑦⑩	D		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
教 務	学科の特長を生かした教育課程の編成と運営に努める。	学科の特長を生かし、かつ新教育課程に対応した教育課程の編成を目指す。 ⑥	B	・ホームページの充実。 ・新教育課程に対応した教育課程の編成。 ・授業をより一層充実させる。
		運営にあたっては、学科間のバランスに注意し、全体としての融和を図る。 ⑥⑦	B	
	円滑な学習活動および授業運営に努める。	年間の授業曜日が学校行事等で偏らないようにする。 ⑤	A	
		出張や年休の場合には、事前に授業交換を行い自習が生じないように努力する。生徒の日々の学習活動が円滑に進むように努める。 ⑤	A	
I Tの活用を図る。	校内 LAN を効率よく活用し、ファイルの共有化を進めていく。またホームページの充実を図り、本校のアピールに活用する。 ⑥	A		
生徒指導	基本的生活習慣の確立及び問題行動の未然防止に努める。	立哨・巡回指導を充実させ、個々の生徒の動向がHR担任に見えるようにする。 ①②③④	B	・生徒の服装や態度、マナー等には、さらなる改善が必要である。
		授業中を含めた日常生活の態度やマナー等、個々の生徒の状況に合わせ、保護者の協力を依頼する。 ①②③	C	
	交通安全教育の推進及び教育相談の充実を図る。	警察署・交通安全協会等、関係機関と連携し講演や実技講習会を実施し、交通安全意識の向上に努める。 ③④	B	
		スクールカウンセラー・カウンセリングアドバイザー等、関係機関と連携し、研修会・講演会を実施する。 ③	C	
進路指導	進学指導、就職指導を充実し生徒個々の進路実現を図る。	各学年と連絡を密にし、進路ガイダンス・インターンシップ等の体験を通して、3年間を見通した体系的な進路指導を行う。 ⑧⑨	B	・就職対応一般常識テストを継続的に実施し、基本的学力の向上を図る。 ・社会に出るための基本的態度、意識の向上を図る。
		進路説明会、基礎学力テスト、適性検査等を実施する。 ⑦⑨⑩	C	
		「進路news」を発行し、積極的に情報を提供する。 ⑧	B	
		課外学習指導、小論文指導等を行い、多様な入試形態に対応できる実力を養う。 ⑦⑩	C	
		あいさつを励行し、服装・頭髪等を含め社会に出るための基本的態度を養う。 ①②⑨	C	
企業訪問を積極的に行い、新規企業の開拓に努める。 ⑧	B			
特別活動	学校行事や生徒会活動、HR活動を通し、集団の一員としての自覚を深め、生徒一人一人の個性の伸長と調和のとれた豊かな人間性の育成を目指す。	生徒会活動を通し、生徒が主体的により良い学校生活や社会生活を考える機会を増やす。 ⑪⑫⑬	B	・生徒ができるだけ主体的に活動できるよう指導する。
		晨光祭・クラスマッチ等の学校行事を通し、責任の遂行の大切さを理解し、満足感や達成感を体験させ、学校に対する帰属意識を高める。また、幅広い人間関係の構築を目指す。 ⑪⑬	B	
		HR活動や常置委員会の活動を通し、生徒相互の連帯を深め、良き市民としての素養を培う。 ⑪⑬	B	
保健体育	心身の健康増進に努め、知識と能力を育てる。	性教育、薬物乱用防止教育を推進する。 ③	B	・心身の健康について理解を深め心の居場所の確保につとめる。
		心身の健康状態の把握に努め、適切な指導・援助を行う。 ③	B	
	健康で安全な学校環境の整備に努め、功德心を育てる。	個別相談等による健康相談活動（スクールカウンセラー等の活用）を推進する。 ③	B	
		施設・設備の安全点検・管理を徹底する。 ③	B	
	防災組織の編成・防災避難訓練の実施により、非常時の安全教育を行う。 ③	A		
	清掃用具の管理と清掃指導の徹底に努める。 ③	B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
図 書	優しい内容の本により、本に親しむ習慣をつけさせる。	絵本など、情操を豊かにする本を図書委員会の活動の一環として書棚に整理し、閲覧できるようにする。③⑦	A	・書庫の整理等もよくできた。棚の移動などもできて今後の見通しがついた。 ・漫画の紛失など生徒のモラル低下が問題である。
		生徒の希望を考慮し、小説・写真・漫画等の本も購入する。⑦	A	
	生徒が利用しやすいように図書館の環境を整える。	「図書館だより」を定期的に発行し、生徒の反応を確かめて利用率の向上を図る。⑦	C	
		授業やHRの中で図書館施設及び視聴覚教材の利用を図る。⑦	A	
渉 外	PTA活動の活性化を図る。	各種行事への参加率を高める。④⑦	A	・今年度築いたものを継続発展させる。
		PTA各種委員会を活性化する。③⑦⑬	A	
事 務	省エネルギー・省資源に努める。	教職員の共通理解を求めながら電気使用量、上水道使用量、燃料使用量、用紙類使用量等を削減し、環境対応品の購入増を図る。⑦	B	・経費節減を図っていきたい。
	学習環境の整備に努める。	校内の破損箇所の即対応と共に環境美化に努める。また、教育活動が円滑に進められるよう効果的な予算執行を図る。⑦	B	
第1学年	欠席遅刻を増やさない。	家庭との連絡を十分に取り、多くなる傾向の生徒に対しては、生活習慣の指導を行う。①	C	・基本的な生活習慣の徹底に努める。 ・授業時、学校生活時に注意を受けることのないように指導する。
	授業を大切にす気持ちを養う。	校内巡視を行い、開始時間の厳守を促し、抜け出している生徒がいれば指導を行う。②	C	
		教科担当者との連絡を密にする。(担当者会などの実施)⑥	C	
	問題行動の未然防止	校内巡視の励行、家庭との連携を大切にする。③	C	
	挨拶や身だしなみを大事にする。	職員室への入室時などをとらえ、普段から挨拶や言葉遣い・身だしなみの大切さを指導する。①②	C	
第2学年	基本的な生活習慣を確立させる。	家庭との連絡を密に取り、遅刻・欠席・早退の減少に努める。①	B	・遅刻や中抜けがないように指導する。 ・進路実現のために、生徒一人一人にあった指導を行う。
	授業を大切にす。	校内巡視を行い、開始時間の厳守を促す。抜け出している生徒がいれば指導を行う。教科担当者との連絡を密にする。①②	B	
	ルールを守る。	授業やHR・学校行事等を通して、規範意識の高揚に努める。①②④	B	
	修学旅行を成功させる。	早めに計画と準備に取りかかり、事前指導も充実したものにする。②④⑭	A	
第3学年	進路目標の実現をはかる。	進路指導の研修に努め、生徒一人一人の個性にあった進路相談を行う。⑧ 就職、進学のための面接指導や一般常識試験を継続的に実施する。⑦⑧	B	・家庭との連絡を確実にし、欠席・遅刻・早退を減らすように努める。
	生徒の能力を高め社会生活に適應させる。	服装・頭髪指導を徹底する。② わかりやすい授業を行う。⑥⑦	B	
	学習環境を整える。	校内巡視による問題行動の未然防止に努める。③	B	
		清潔な教室を保つ。①⑦		
	生活習慣を整えさせる。	欠席・遅刻・早退について家庭との連絡を確実にし行う。①②	C	

評価基準 A：大変よくできた B：よくできた C：普通 D：やや不十分 E：不十分